

# 軽井沢新聞

7/10 July 2017

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880  
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27

身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp  
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055



## 軽井沢人物語



近茶流宗家  
柳原料理教室主宰

柳原 一成 さん

江戸懐石を今に伝える宗家、  
軽井沢では“週末農民”に

江戸時代後期の文化文政期、町家の奥様が、冠婚葬祭に合わせて用意した江戸懐石「近茶料理」を今に伝える。家伝の懐石と包丁道を引き継ぎ、柳原料理教室（東京・赤坂）の主宰として、長男で嗣家（しか）の尚之さんとともに、大勢の門下生に料理を指導。教室では料理の作り方のほか、食材や調理道具の扱い方、膳組作法などについても講義する。もともと女性の手で興った料理法のため、使う出刃包丁も小さめの五寸（15cm）と決まっている。

「魚の関節に包丁を入れると、鯛などの大きな魚も楽に下ろせます。『柔よく剛を制す』の技術を応用した、包丁の使い方が特徴です」

先代からの軽井沢の山の家に、大学生の頃から訪れる。自宅のある六本木は「一日中明るく、夜中でもカラスが鳴く」。軽井沢に来ると「夜中は真っ暗で、懐中電灯がないと歩けない。その環境が体に英気を入れています」。

30年ほど前、発地に畑を借りて以来、春から秋まで毎週通う“週末農民”に。トウモロコシにじゃが芋、長ねぎ、白菜、かぼちゃなど、収穫した野菜は、自宅や東京の教室で使い、福祉施設にも寄付している。

「育てて、植物のなり方を見るのが好きなんです。どうしたら農業を使わずに済むかとか、どんな虫がつくかとか、そういうことを学ぶのが楽しい」

5～7月に8話連続で放送したNHKの土曜時代ドラマ「みをつくし料理帖」の料理監修を尚之さんが担当。女料理人役を務めた俳優黒木華さんが、教室で学ぶ様子を見ていて、気付くことは多かった。

「黒木さんは上達が早い。メモを一切取らずに、せがれがするのを一生懸命見てるんですね。それから教室でも、私が魚をおろすときはノートをとることより、よく見ることを奨めるようになりました」

柳原家にとって家族旅行は、イコール食材巡りの旅のこと。

「『泊まる旅館は決めなくても、行く港だけは決めておく』というのが先代の教え。子どもたちも『夏に北海道へ行っても、札幌ではなく昆布の育つ海岸ばかり』と言っていたけれど、今では彼らのライフワーク」

1942年生まれ。床暖房を入れているので、畑仕事のない冬も軽井沢へ。「孫たちがスキーをするので、一足早く来て、家を温めておくんです」と、孫煩惱の一面も。

認定を受けた建物に掲げられる銘板ブルー・ブラック。



トさせた。6月22日、認定式を開き、建物30件の所有者に認定書と銘板を贈呈した。町教育委員会から委託を受けた軽井沢ナショナルトラストが昨年度から、相應しい建物を調査していた。A・C・シヨールの軽井沢第一号別荘を復元したシヨールハウスや、ヴォーリス建築の軽井沢集会所などの建物のほか、軽井沢彫製造の大坂屋家具店、明治期からの貴重な写真を残す土屋写真店など、軽井沢の歴史を引き継ぐ施設も認定を受けた。2019年度までに約100件の認定を目指すという。

銘板は英国にならい円形で青色。素材はステンレスで、直径30センチ、厚さ4ミリ。白字で、

## 歴史的建造物に銘板、30件認定

英国にならい、ブルーブラック制度

歴史的な出来事があった建物や、著名人が住んだ家に銘板を設置する英国発祥の制度にならい、軽井沢町が「ブルー・ブラック制度」をスタートさせた。6月22日、認定式を開き、建物30件の所有者に認定書と銘板を贈呈した。町教育委員会から委託を受けた軽井沢ナショナルトラストが昨年度から、相應しい建物を調査していた。A・C・シヨールの軽井沢第一号別荘を復元したシヨールハウスや、ヴォーリス建築の軽井沢集会所などの建物のほか、軽井沢彫製造の大坂屋家具店、明治期からの貴重な写真を残す土屋写真店など、軽井沢の歴史を引き継ぐ施設も認定を受けた。2019年度までに約100件の認定を目指すという。

建築年や別荘番号、建物の名称、概要を記した。藤巻進町長は「時代の変遷で、貴重な建物が少しずつ失われているのが現状。事業を通じ、歴史的な建物を少しでも後世に残せていきたい」と話した。

認定を受けた旧軽井沢の貸別荘地前田郷の本館は、実業家前田栄次郎が1933年に建築した建物。当時としては珍しいログハウスで、所有者の前田博子さんは「今と違い、相当苦労して建てたものだと思う。その思いを引き継いでいきたい」と思いを語った。

## 2015年、メガソーラーの設置場所

## 町花サクラソウの群生地が消えた！

2015年に約3万坪の土地に太陽光発電施設を造った南軽井沢・馬取の土地に、毎年咲いていたサクラソウの群生がなくなることが、近所の人の証言でわかった。サクラソウの群生地だった現場を案内してくれた大畑晃利さんはこの隣接する場所でも暮らしている。「毎年サクラソウが咲くのが楽しみだったが、メガソーラーの工事が始まった年から激減した。毎朝飛んできたオオジシギについても「メガソーラーの工事が始まってからは全く来なくなった」と嘆く。オオジシギはオーストラリアから飛来する絶滅危惧種で、その独特な鳴声と旋回する様子を見る「夜明けの観覧会」が行われたこともある希少な鳥だ。



金網の向こうはソーラーパネルが並び、大畑さんが指さす方向には、以前はサクラソウがたくさん咲いていた（今年5月24日撮影）

サクラソウの保護活動を行っているボランティア団体「サクラソウ会議」代表の須永久さんは「町内のサクラソウを調査しているが、この場所には気づかなかった。知っていたら、建設会社と交渉して移植するなど方法はあった。軽井沢には貴重な自然が残っているのだから、開発の際は慎重にしてほしい」と話した。

軽井沢の野の花の普及活動を行っているボランティア団体「われもこの会」代表で、当時軽井沢自然保護審議会の委員でもあった猪又裕子さんは「太陽光発電は必要と思ひ、メガソーラー建設に賛成した。サクラソウが消えたことは残念。開発の場所に希少な植物があるときは、保護するので知らせてほしい」

## 軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

### 三井のリフォーム 5つの約束

1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はおお客様のご確認いただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

リビング・ダイニング 寝室・和室・書斎 洗面・トイレ  
キッチン・浴室 外観・エクステリア 水漏れ・雨漏り

あなたのご予算に合わせてご提案させていただきます。

軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業 リフォーム一筋20年  
三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店  
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42 (営業時間) 9:00~18:00  
悩んでいないで、まずはお電話ください！  
見積り無料!! ☎ (0120) 278-321



全国第1位の社長表彰をいただきました。



ホームページが新しくなりました。  
www.karuizawa-reform.com  
メール karuizawa@mitsui-reform.com

アイガモが  
ヤッパと  
田んぼを  
耕します。

御厨では、  
かまど炊きご飯の  
御膳をはじめ、  
信州ならではの  
お食事をご用意  
しております。

里山のかまど炊きご飯 MIKURIYA

ご予約・宴会等、お気軽にご相談ください。  
営業 8:00~21:00 (14:00~17:00 は喫茶のみ) Tel: 0267-41-6741  
休 無 休 〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町発地 2127  
www.mikuriya-kamado.com インターネットでもご紹介しています。  
※御厨は「田舎っぺ倶楽部」の仲間です。

田舎っぺ倶楽部 INAKAPPE CLUB

セブンイレブン 軽井沢店  
南保育園  
御厨(みくりや)  
ホテルの里  
白はる豆腐